

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社アスノオト

【サービス名】
生徒のための個別最適な探究学習の推進と
教員業務の省力化を両立するための
総合支援サービス

【支援項目】
授業
授業準備
研修等

2025年1月



レベル別プロジェクト学習の総合メニューと 外部連携リソースの提供を通し 学習の個別最適化に係る教員業務を省略化するプログラム

レベル別
探究学習プログラムの
共同開発



探究活動の
情報発信・相談対応



導入後の振り返りや
評価・翌年度カリキュラム
等の計画策定サポート



探究学習プログラムの
実施とサポート



- 教員の業務負担を軽減し、効率的かつ効果的な探究学習の実施を支援
- 教員が継続的に探究学習を実施できる知識と環境作りをサポート

生徒、教員、それぞれに向けた①授業コンテンツと②選択制の課外活動のメニューを組み合わせが可能な、オールインワンサービスです。



導入実績

	学校等設置者	学校教育機関名
1	郡上市教育委員会	郡上市立白鳥中学校
2	大空町教育委員会	大空町立北海道大空高等学校
3	静岡県教育委員会	静岡県立榛原高等学校
4		静岡県立ふじのくに国際高等学校
5	島根県教育委員会	島根県立隠岐島前高等学校
6	学校法人郁文館夢学園	I D 学園高等学校
7	株式会社アットマーク・ラーニング	アットマーク国際高等学校
8	学校法人今治明德学園	FC今治高等学校 里山校
9	学校法人城北埼玉学園	城北埼玉高等学校
10	株式会社ウィザス	第一学院高等学校（養父本校）
11	国立大学法人東京学芸大学	東京学芸大学附属国際中等教育学校（前期）
12		東京学芸大学附属国際中等教育学校（後期）
13	学校法人土佐塾学園	土佐塾中学校
14		土佐塾高等学校
15	学校法人宇都宮海星学園	星の杜高等学校

導入事例

自己探求プログラム支援

城北埼玉高等学校

夏期休暇を有意義に過ごすことを目的とし、オリジナルプログラムである「布石ワーク」を取り入れた、休暇前後の導入と振り返り実践の自己探求プログラムの授業計画に伴走。



インタビュー実践支援

FC今治高等学校里山校

探究学習や地元企業とのプロジェクト学習などの場面で想定されるインタビューの機会へ向け、インタビューの本質について、体験しながら解像度を高めることを目的とした授業計画への伴走、授業実施を担当。



地域学習の社会接続支援

アットマーク国際高等学校

同校の学生も多く居住する能登半島を拠点にまちづくり事業を展開する株式会社御祓川の森山奈美代表取締役社長と連携、「未来をつくるチカラを！」をテーマに、世の中や自分へのどうして?を探るワークショップの企画と運営を実施。



これら探究学習プログラムの共同開発は運営する市民大学「さとのぼ大学」のカリキュラムを中高生向けにアレンジしたものをベースとしています。



さとのぼ大学のカリキュラムの特徴

「さとのぼ大学」では、日本各地の地方創生のリーダーやソーシャルデザインの専門家や実践家が講師を務め、これら講師陣とともに開発した講義には、社会的課題をクリエイティブに解決する「ソーシャルデザイン」の視点を取り入れています。この視点を探究学習にも取り入れることで、生徒の興味を喚起し、社会との関わりをより身近に感じられるようにする、本質的な探究授業の提供を実現します。

■ 授業企画・実施に関する成果（授業1コマあたり）

内容	従来の稼働時間	導入後の稼働時間	削減時間	削減率
授業企画・実施	7h	4h	3h	57%
授業内容の検討	1h	2h	+1h	-50%
授業の準備 (資料作成等)	3h	0h	3h	100%
学校内調整 (先生調整、生徒案内)	2h	1h	1h	50%
課外活動の情報収集・案内	10h	1h	9h	90%

※導入先の中学・高等学校全15校へのヒアリング結果の平均より算出

課題

導入時期に応じて学校のカリキュラムに最適な提供コンテンツを選出するにあたり、前後の授業内容や狙い、生徒の習熟状況等を踏まえた調整のための事前打合せ時間確保が必要となった。

自身の探究活動のテーマ決めや、次の段階に深める方法とそのための情報収集に困難を抱える生徒が多く見られ、提供コンテンツ間をつなぐための施策が求められた。

改善策

現状の学校カリキュラムに関する仮説と効果検証サイクルを確立

自社独自のマイプロレベル表や、生徒へのアンケート等を活用した振り返りと評価の伴走を行い、それら情報を基に調整・提案時間の圧縮を行った。

自社課外活動コンテンツやその他外部情報の提供を強化

新たな価値観や探究テーマなどに出会い、壁打ちの機会となる自社展開のワークショップや、学校の枠を越えた同世代との出会いの場を多数提供。また、各自のタイミングで視聴が可能な動画コンテンツも活用し、個別最適な対応を行った。同時に、生徒の自律的選択の促進を実現した。



高校教員

1 から授業を立ち上げているところで、積み上げた教材やワークシート等もない状況でしたが、担当者の稼働時間が大幅に軽減されただけでなく、**カリキュラム作りの指針を得ることができました。**



高校教員

校内での理解や協力が得づらい場面もある中、本サービスの導入により**相談先やリソースが増えて授業づくりのスピードが上がり**、それにより**探究学習の幅が広がりました。**



高校1年生

これまで自分一人で物事を考えることが多く、意外と自分の考えを客観視できていなかったことに気づきました。さまざまな視点から意見を聞くことで、**自分の視野が広がり、新たな考え方ができるようになりました。**



高校2年生

挑戦をマイナスに考えて諦めるのではなく、**「まずやってみる」ことの大切さも学びました。**自分の考えを言語化し他人に伝えることに少し恐怖がありましたが、授業を通じて**思いを伝える喜びを感じた**ことが大きな収穫です。



高校2年生

自分とは異なる人生を歩んできた人々の話を聞く機会もあり、**人との交流が視野をさらに広げてくれることを実感**しました。

- 会社名 : 株式会社アスノオト (英文社名 : asunooto.co.,ltd.)
- 設立 : 2015年5月22日
- 資本金 : 3,200,000円
- 代表者 : 代表取締役 信岡 良亮
- 所在地 : 東京都千代田区神田錦町3-21 (郵便BOX番号 1345)
- 事業内容 :
■ 人材育成・教育事業
■ ICTを含めたコミュニケーション・コンサルティング
都市と地方、経営者と従業員、生産者と消費者といった
対立関係を協働関係に変える相互理解支援
- ウェブサイト : <https://satonova.org/>
- お問い合わせ : renkei@asunooto.co.jp



高校向け
探究支援
事業

地域留学体験
プログラム
事業

市民講座
(特別講義)